

## あくていぶ21 伊藤 健司 議員



### 1 財政改革における自主財源の確保 (1) 税外収入金の未収金対策と公金 徴収一元化について伺いたい

**質問1(1)** 主な税外収入金の収入未済額には、どのようなものがどれくらいあるのか。

**答弁1(1)** 主なものとしては保育料と市営住宅使用料であり、21年度は1億8108万5055円で、全体の8割以上を占めている。22年度では1億9173万1089円。

**質問1(2)** 未収金対策として関係部署間での情報共有や組織横断的な取組はなされているのか。

**答弁1(2)** 主な税外収入金の関係所属には公金の徴収部門の経験者を配置。公金の債権回収業務に関

する研修を実施。企画財務部と保健福祉部が中心となって、課題整理、検証し知識やノウハウの向上に努める。

**質問1(3)** 公金徴収一元化について、今後どのようにしていくのか。

**答弁1(3)** 行財政改革のアクションプランに位置づけ、段階的な推進を図りたい。具体的には24年度で徴収業務の一元化等の取組が必要な債権の取扱いの再確認。第1段階として徴収業務に関する課題抽出、問題点整理、ノウハウや情報共有を推進。25年度で債権管理方針を作成し、滞納債権の現状や課題を明らかにし、債権の適正管理等を全庁で共通認識を図り、税等公金徴収一元化に携わる組織設置を検討。26年度で第2段階として一元化した組織を設置し、徴収率向上と財源確保を目指す。

## すずか倶楽部 鈴木 純 議員



### 1 企業誘致の促進について (1) 企業誘致の現況について (2) 誘致体制について (3) トップセールスについて 2 監査体制の強化について (1) 不祥事を防ぐ監査体制について (2) 外部監査の導入について

**質問1(1)** 鈴鹿市の発展のため、税収増雇用増の確保の観点からも企業誘致は欠かせないが、現況は。

**答弁1(1)** 企業立地件数として、平成22年度から新たに2件、施設の増設が4件の計6件である。

**質問1(2)** 現在、公的工業団地の立地スペースもなく、その確保や誘致体制を今後どう強化するのか。

**答弁1(2)** 最適な用地確保は課題と認識している。

**質問1(3)** 市長の企業トップセールスの取組みは。

**答弁1(3)** 非常に重要な施策であり、トップセールスを駆使し積極的、タイムリーに企業誘致を進める。

**質問2(1)** 4年前の不祥事の教訓から、監査体制をどう見直してきたか。工事監査では重大な所見が記載されており、措置状況の公表など監査強化すべき。

**答弁2(1)** 生活保護費の随時監査を実施した。監査強化には職員の増員・組織の充実の必要がある。工事監査は、対応状況の報告を求めることを検討する。

**質問2(2)** 大きな不祥事も発生しており、外部の専門的な知識を有する人による外部監査を実施すべき。

**答弁2(2)** 議員、監査委員の意見、他市の状況、本市の事務処理の実態等を踏まえて必要性を見極める。

## あくていぶ21 宮木 健 議員



### 1 学校の生活指導について 今全国的に問題になっているいじめを 含む問題行動について本市の状況を聞く 2 遺族会・忠魂碑について

**質問1(1)** 生活指導の本市の実情と問題行動を取り巻く環境はどのように把握しているのか。

**答弁1(1)** 全国的に増加傾向にある児童生徒の暴力行為は本市においても発生比率が増加に転じ憂慮すべき状況にある。またその要因として、自分自身の感情をコントロールできないコミュニケーション力の低下などがあげられ、保護者においても家族が果たすべき養育力や子供にむかい合う事への不安を多くかかえている。

**質問1(2)** 地域で子育てを形成できないのか。

**答弁1(2)** スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの拡充を県にも要望している。又、本市では臨床心理士も配置し、親子の不安を取り除くよう努めている。

**質問2** 戦後67年、市制70年を迎える今日、歴史教育を平和教育として継承できないのか。

**答弁2** あった事実をありのまま伝え二度と悲惨な歴史を繰り返さないためにも平和教育に積極的に取り組んで、鈴鹿市の歴史を副読本として取り入れていく。